

第18回 千丁地域審議会会議録

開催日時	平成23年6月10日(金) 14:30~17:20
開催場所	千丁支所2階大会議室

■ 出席委員

委員	川口 重信	委員	永溝 ユリ子	委員	村田 健一
〃	作田 絹子	〃	福田 輝美	〃	村松 鈴子
〃	竹本 美智子	〃	松浦 和久	〃	吉野 勝子
〃	中 寛	〃	松永 要		

■ 市出席者

役職	氏名	役職	氏名
八代市長	福島 和敏	企画戦略部次長	福永 知規
支所長	森本 俊規	〃 課長補佐	谷脇 信博
総務振興課長	豊田 孝二	〃 企画係長	相澤 誠
〃 振興係長	上村 和寛	〃 主任	坂本 友和
〃 主任	沢田 幸一郎	議会事務局長	米田 健二
市民福祉課長	寺本 修也	〃 次長補佐兼総務係長	澤井 光郁
〃 審議員	忝島 道則	〃 議事調査係長	松川 由美
千丁農林水産事務所長	松島 秀司	長寿支援課 管理係長	中村 光弘
千丁建設事務所長	鶴山 信一	はつらつ健康課長	橋永 高德
企画戦略部長	永原 辰秋	〃 健康増進係長	続 良彦

■ その他の出席

市議会 議会改革特別委員会 委員長	村上 光則
-------------------	-------

■ 傍聴者

一般傍聴者	0	名	報道機関	0	名
-------	---	---	------	---	---

■ 協議事項

- (1) 委嘱状交付
- (2) 市長挨拶
- (3) 出席者紹介
- (4) 市長との意見交換会
- (5) 地域審議会の役割と運営要領について
- (6) 正副会長の選出
- (7) 議題
 - ① 八代市議会に関する市民への意見聴取について
 - ② その他諮問機関への参加について
 - ・八代市介護保険計画等策定・評価審議委員の推薦について
- (8) 報告事項
 - ①住民自治の推進状況について
 - ②パトリア千丁浴室改修工事について
- (8) その他

○司会

第18回千丁地域審議会開会。会議成立説明。

○市長挨拶

○委嘱状交付

○出席者紹介

委員3名の交代あり。全委員、職員自己紹介。

○市長との意見交換会

委員：現在、千丁支所内にある社会福祉協議会（本所）が、市役所本庁に移転すると聞いた。

市長：本庁ではなく、本庁近隣の本町付近に候補地があり、現在、交渉中である。社会福祉協議会の理事会では、移転については満場一致で了解を得ている。

委員：社会福祉協議会移転には、億単位の費用が必要と聞いている。

市長：土地、建物（鉄筋3階建）、駐車場の取得で5,000万円から5,500万円、エレベータ設置などの改修を含めて9,000万円程度と考える。社会福祉協議会が費用全額を負担する。八代市の費用負担はない。

委員：私達は男女共同参画社会を目指している。八代には未来ネットがあり、いっそでフェスタを開催している。市長にも出席、挨拶をお願いしたい。

市長：いっそでフェスタへ出席すべく、スケジュールを調整する。

委員：千丁地区に手織り機が6台ある。手織りの伝統を子どもたちに残すために購入したと聞いている。手織り機を小学校で使う事はできないか。

市長：個人的には使用できると思われる。

委員：ここ2、3年、い草の里まつりで手織機の体験コーナーを設けている。私たちが小学校へ相談しても、使ってもらえないと思う。

市長：千丁支所と教育委員会で協議すること。

委員：東日本の震災を受け、市長の心境に変化はあったか。

市長：災害は、いつ起こるか分からないため、訓練だけは行っておく必要があると思う。河川敷で行っているような大がかりな防災訓練ではなく、校区ごとの訓練が必要と考える。

回答：地震を想定したハザードマップを各家庭に配布している。日奈久断層による地震が発生した場合、国道は壊れ、干拓地は液状化と思われる。阪神大震災では、行政でなく隣近所の助け合いで助かった人が多かった。住民自治や自主防災組織が大事である。独居老人の登録制を始めたが、登録者は少ない。6月3日に防災連絡会議を開催した。

市長：現在、以前の建築基準法で建てられた公共施設の改修を行っている。耐震基準以下の建築物は69棟ある。これを4年間で改修すべく指示されているが、60億円以上必要である。改修作業は、八代が熊本県内で一番遅れている。

委員：千丁支所は日奈久断層上に建てられており、心配している。

市長：日奈久断層で一番の心配は山側であり、千丁付近は液状化が心配される。

委員：仮に計画停電がなされれば、い草の乾燥ができなくなり質が落ちる。行政から九電に停電をしないよう伝えて欲しい。

市長：まだ、具体的には節電の話はない。市役所は節電を呼び掛けている。

委員：パトリアの温泉は使われていないため、お湯を捨てている状態である。例えば、そのお湯を使い公園に足湯を設け、温泉がある事をアピールすることはできないか。

回答：パトリアの補修については、6月議会で2,700万円の補正予算を提案し、うたせ湯天井、檜風呂の改修等を行う。足湯は、今後の検討課題としたい。

市長：お湯の温度は何度か。沸かす必要がなければ、足湯はできると思われる。

委員：まつりやイベントなど一時的にお湯を使用できないか。

回答：温度は35～6度である。足湯は検討課題としたい。

市長：毎日ではなくまつりのような時に使えればいい。

回答：わかりました。

委員：鹿本町は温泉を一人暮らしの家庭や老人宅に配達している。商工会のアピールにもなり、パトリア温泉も応援できるので、温泉を配達することはできるか。

回答：検討課題としたい。

市長：八代は日本一のい草の産地である事から、氷川町と連携し、半畳たたみを東北に送ろうと計画した。予算は4,500万円で10,000枚を東北に送った。5月1日には八代重紀さんが同行され、2,000枚を届けた。JAや畳店の協力により安く提供いただいたため、約1,000万円の余剰が出た。被災地からの要望があれば、今後も送ることはできる。協力いただいた皆さんにお礼申し上げる。《市長退席》

○地域審議会の役割と運営要領について

※企画政策課説明

質問・意見なし

○正副会長の選出

互選により決定

会長：村松鈴子委員、副会長：福田輝美委員

○議題①「八代市議会に関する市民への意見聴取について」

※議会特別委員長、議会事務局説明要旨

- ・昨年6月定例会で議会改革特別委員会を設置し、延べ19回開催した。
- ・議会改革に関する諸問題（予算審査の方法、委員会での視察旅費、議員報酬、費用弁償、議員定数）について協議をし、議員定数以外については方針決定がなされた。
- ・議員定数については、市民の声を聞いて慎重に判断したいとの意見が、議員から多数出された。
- ・「市政のあらまし」「市議会議員定数に関する調査結果」を基に、八代市議会の現状、他市の状況等の説明。
- ・意見については、6月20日までに封筒にて送付を願いたい。

《意見・質問》

委員：合併前は98人いた議員数を、八代は合併で人口が14万人程度になるということから、合併協議会の中で34人に決めた。あさぎり町は、合併時

の議員数はそのままであった。

委員：議員の定数は決まっていなかったのか。

回答：これまでは、人口規模で議員定数は34人と決まっていた。法改正によりこれからは条例で定める事ができる。市民の意見を聞き、議員数を決めたい。

委員：議員数が法定より少ない地域は、どのような状況になっているのか。議員数を減らせば予算上は利点があると思われるが、定数でいいのか悪いのかは分からない。

回答：全国的に財政が厳しい自治体が多いため、財政的な立場からであれば、人件費を減らすことができる。ただし、議員数を減らすと、当選するためには今までより多くの得票が必要となるため、人口が少ない旧町村からは議員が出なくなる心配がある。市民の代表である議員がいなくなれば、意見が出せなくなるという事にもなる。定数より減らした自治体は、財政状況を考えて削減したと聞いている。

委員：八代市の議会では、3つの会派から削減が必要との回答がでていいる。議員数については、本来は出身地区に関係なく八代市全体を考えるべきである。人口が5倍の熊本市の議員数は48人であり、少しの議員数削減は必要と思う。報酬があるのに日当や費用弁償などが出るのは理解できない。

委員：議員報酬を極端に減らし、議会に出た場合は手当を払うという様な、他の方法は検討されていないのか。

回答：定数を減らすだけでなく報酬も減らすという方法は、色々な場面で話がでている。これからの課題と考える。

委員：行政調査費と政務調査費は、報酬とは別に支給されているのか。それなら、これを減らすことはできないのか。

回答：金額は以前より削減しており、費用自体の有無に関する議論も行われている。新たな事業やこれまでの事業を見直すには、先進地の勉強や研修を調査するための経費が必要である。

委員：政務調査費は、どこの会派が一番使っているか。件数が一番多い会派はどこか。

回答：金額の大小についての資料はないが、各会派とも近隣と遠方を1か所ずつ調査を行っている。調査地区の距離により金額が変動する。

委員：定数の問題は、判断が難しい。職員も削減したからといって活性化できたのか分からない。報酬面を考え直してほしい。

回答：他校区でも定数の問題は難しいとの意見が出された。市民の意見を聞きたいと言う事で、この地域審議会の議題とした。議員数削減ありきではなく、色々な方法を考えるために意見をいただきたい。

委員：職員を削減すると、市政協力員の仕事が増えて困る。

○議題②「その他諮問機関への参加について」

* 八代市介護保険計画策定・評価審議会委員の推薦

※長寿支援課説明要旨

- ・八代市が行う介護保険等に関する施策の企画立案、実施及び評価が、被保険者の意見を反映し、円滑かつ適切に行うことを目的とする八代市長の諮問機関である。
- ・平成23年度3月末現在で、24名の委員で構成している。住民代表として、各地域審議会委員より1名依頼している。
- ・委員の任期は3年で、現在の任期は平成20年8月23日から平成23年8月22日である。今回の就任される委員は、次の第5期計画期間の任期も引き続きお願いしたい。
- ・平成23年度は、第5期計画の策定のため5回開催する。平成24年度、25年度は介護保険事業評価の年で、各1回開催する。

《意見・質問》

意見、質問なし。

委員の自薦がなく、事務局案として作田委員を推薦し、全委員より承認された。

○報告事項

①住民自治の進捗状況について

※総務振興課説明

- ・昨年の八代市住民自治推進団体連絡会議で、行政の財政支援策の説明を受けた後、各校区に持ち帰りモデル地区の指定を受けるかどうかの検討がなされ、5地区（代陽、麦島、金剛、二見、東陽）の指定がなされた。
- ・千丁校区では、独自に勉強会を開催し、アンケートを実施した。その結果、第2期モデル地区指定を目指す事とした。
- ・第1期目モデル地区の設立準備委員会に同席し、来年度の指定を目指す。

《意見・質問》

委員：リードする人がいれば、住民自治はできると思う。千丁に一番状況が似ている東陽地区の勉強会を参考にするとよい。

回答：東陽地区の勉強会に出席する。

②パトリア千丁浴室改修工事について

※市民福祉課説明

- ・うたせ湯天井の一部落下について報告。利用者の安全を優先し、温泉施設全体を調査する事とした。
- ・6月議会に工事費の補正予算を計上し、7～8月に工事設計の入札、契約を行い9月に工事着工。12月末までに温泉施設の再開を目標としているが、東日本大震災の関係で、資材不足により遅れる可能性もある。

《質問・意見》

委員：温泉施設だけの改修だけで、文化センターの事業もできないのか。文化センター全体が使えないのか。

回答：浴室部分だけを止めており、他の事業は行っている。

委員：施設内の床に斜面があるため、今回の工事と一緒に改修して欲しい。今回の工事には含まれていないようである。

回答：廊下の斜面は、今回の改修に含まれていない。

委員：改修後は、より多くの人に利用してもらうため、広告や宣伝は考えていないか。

回答：改修が終了したとの報告はするが、広告宣伝は考えていない。

委員：多額の費用をかけて改修するのだから、より多くの人が使用するよう、皆に周知して欲しい。

○その他

委員：防災無線の音量が小さく聞き取りにくい。放送する人により聞こえる時もあるが、高齢者や一人暮らしの人には聞こえにくいと思われる。

回答：地区内からの放送は比較的聞こえるが、千丁支所から千丁地域全体への放送は聞き取りにくいとの指摘があり、業者に修理を依頼し、ある程度は改善した。それでも、地区からの放送の方が聞こえるような状態である。再度、点検を行いたい。今後は、旧町村の防災無線が本庁に統合したため、本庁からの放送ができるようになった。しかし、旧町村はそれぞれメーカーが違うため、互換性の問題はあると考えられる。

委員：防災無線の電源を切っている世帯がある。接続するように呼びかけて欲しい。

回答：何らかの方法で接続を呼び掛けたい。

委員：以前は、パトリア内にカラオケがあり客足も多かった。そのような要望がある事をお知らせしたい。

回答：そのような意見があったと、事務局で承りたい。

○次回会議について

9月・・・第10回正副会長会議

11月・・・第19回千丁地域審議会

2月・・・第11回正副会長会議

3月・・・第20回千丁地域審議会

○閉会